

1回の放出で12基放出できる新しい放出機構を初めて使用 「こうのとり」6号機が「きぼう」に運んだ超小型衛星6基の放出に成功



①ITF-2/WASEDA-SAT3/FREEDOM の放出



②EGG の放出



③AOBA-VeloxIII の放出



④TuPOD の放出

「きぼう」の小型衛星放出機構は超小型衛星の組み合わせに応じて衛星搭載ケースの数を変えられる

1月16日(月)午後6時10分～午後7時50分にかけて4回に分けて、「きぼう」日本実験棟から6基の超小型衛星が放出されました。

1回目の放出で、筑波大学、早稲田大学、(株)中島鉄工所/東北大学がそれぞれ開発した1Uサイズの衛星3基を放出し、2回目に東京大学が開発した3Uサイズの衛星、3回目に九州工業大学/Nanyang Technological University(シンガポール)が開発した2Uサイズの衛星、4回目に有人宇宙システム(株)/GAUSS社(イタリア)/Tancred小学校(ブラジル)が開発した3Uサイズの衛星が放出されました。

これらの超小型衛星は、昨年12月に「こうのとり」6号機で国際宇宙ステーション(ISS)に運ばれました。

超小型衛星 (CubeSat) について



CubeSatとは、縦10cm×横10cm×高さ10cmの立方体を1Uとした衛星で、高さのサイズにより、2U(高さ20cm)、3U(高さ30cm)となります。JAXAのCubeSatサイズの小型衛星放出機構(JEM Small Satellite Orbital Deployer: J-SSOD)は、CubeSatを1回の放出機会に12基(12U)放出できる能力を持ち、将来的には48Uまで放出能力を増やしていく予定です。

上) 今回放出された超小型衛星と12Uの搭載能力を持つ衛星放出機構 下左) 放出成功を喜ぶ関係者

1/14、日本製のリチウムイオン電池を使用した新型バッテリーの取り付け、起動が完了



(写真) 第50次ISS長期滞在クルーの船外活動によるバッテリー取り付け作業の様子(1月6日)

さらに詳しく知りたい方はコチラ



「こうのとり」6号機の最新情報はこちら

ファン! ファン! JAXA「こうのとり」6号機特設サイト
<http://fanfun.jaxa.jp/countdown/htv6/index.html>

Spacei 宇宙かわら版 2017年1月20日号

※「Spacei」はJAXAとJSFの共同事業です

問い合わせ先: Spacei事務局(一般財団法人日本宇宙フォーラム)

ホームページ: <http://www.spaceinfo.jp/> お問い合わせ: <https://www.science-event.jp/event/spacei/contact/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。画像の出典: ①～④、⑦JAXA/NASA ⑤～⑥JAXA

Spacei